

岐阜城に岐阜大仏、川原町界わいと岐阜市を象徴する歴史や文化が集積する金華地区の魅力盛り込んだホームページを、地元住民らによる「金華まちづくり協議会」が開設した。子育てや医療など暮らしに欠かせない地域情報に加え、戦後間もない旧金華小学校（現岐阜小学校）の校報、寺社仏閣の歴史など多彩なメニューを展開。「岐阜空襲の戦火を免れた町家が今も残る金華の魅力を記録として残し、次世代の住民ともホームページを通じて交流を図っていければ」と高木幹雄会長（78）＝同市啓運町＝は話す。

（小森孝美）

◆ ◆  
同協議会は2017年2月に発足。金華自治会連合会、婦人会、岐阜小学校PTA、水防団など35団体を主として構成し、連携して地域が抱える課題に取り組み。

◆ ◆  
金華地区は地域のつながりが深く、近所付き合いが今も続く一方で、高齢化率は3割を超え、地域活動を主に高齢者が担ってきた。同協議会事務局長の林憲和さん（62）＝同市松山町＝は「新たな若い人材を発掘できればホームページを作成した。『金華で互いに助け愛』の『互金助

## 地域情報や寺社仏閣の歴史 紹介

愛』をモットーに絆を深めていければ」と語る。

ホームページには既に約100本の記事、写真も約千枚を掲載。地域情報だけでなく、懐かしい思い出も紹介する。その一つ、旧金華小学校の学校新聞「金華校報」の1952年3月24日の紙面をそのまま掲載する。卒業生への教師や在校生からの温かい言葉が印象的だ。

統廃合前の2007年に最後の在校生が歌う校歌の動画もアップする。コラムではたびたび襲われた水害の歴史を紹介し、今の防災につながる教訓を学ぶことができる。伊奈波神社の縁起なども掲載し、地元にもまつわる歴史文化のアーカイブの役目も果たす。

ホームページの制作は、地元で地域交流の場を開放するNPO法人「わいわいハウス金華」理事長の吉田茂生さん（41）＝同市上茶屋町＝が主に担った。ホームページ制作が本業ということで、見やすいビジュアル的なデザインにこだわった。「金華を極めた内容。毎朝新聞を読むように、住民にこのホームページを活用してほしい」と話す。ホームページアドレスは <https://gokinjyoai.org/>



金華の魅力を満載したホームページを作成した「金華まちづくり協議会」の高木幹雄会長（右）と担当した吉田茂生さん＝岐阜市上茶屋町、わいわいハウス金華

### ◆ 記者のひとこと

金華地区には、川原町まちづくり会や井の口まちづくり会などがあり、地域活動が盛んな印象だが、同時に高齢化問題も抱えている。ホームページの内容からは地元住民が、わが町に抱く誇りと愛情を感じた。次世代のまちづくりの担い手にも、きっとその思いは伝わるだろう。